

未来投資会議 構造改革徹底推進会合

「第4次産業革命」会合（PPP／PFI）（第5回）

（開催要領）

1. 開催日時：平成30年4月26日（木）13：30～13：40
2. 場 所：中央合同庁舎第4号館2階 第3特別会議室
3. 出席者：
越智 隆雄 内閣府副大臣

竹中 平蔵 東洋大学教授・慶應大学名誉教授

（議事次第）

1. 開会
2. PPP／PFIの活用促進に係る論点整理について
3. 閉会

（配布資料）

- 資料1 : 竹中会長提出資料①
資料2 : 竹中会長提出資料②
参考資料：内閣府（民間資金等活用事業推進室）提出資料
-

○広瀬日本経済再生総合事務局次長

それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。

ただ今から「未来投資会議構造改革徹底推進会合『第4次産業革命』会合（PPP/PFI）」の第5回目を開会いたします。

本日は御多忙の中、御参集いただきましてありがとうございます。

本日は、越智副大臣に御出席をいただいておりますので、まず、御挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

○越智副大臣

皆さん、こんにちは。

大変お忙しい中を、こうしてお集まりいただきましてありがとうございます。

この会合は、前は、今月の9日に行ったわけですが、そのときに、竹中会長から、これまでの取り組みに対する評価や、今後の論点についてお示しをいただいたというところがございます。

今回は、前回会合での議論、また、その後の各省との調整を踏まえまして、竹中会長から提言として、お示しいただくこととなっております。

皆様方には、PPP/PFIのさらなる前進に向けた議論をいただくとともに、課題解決に向けた各省庁の御協力をいただきますように、よろしくお願いいたします。冒頭の挨拶とさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

○広瀬日本経済再生総合事務局次長

ありがとうございました。

それでは、PPP/PFIの活用促進についての議論を始めさせていただきます。

時間も限られておりますので、失礼ながら出席者の御紹介は、お手元にお配りしております座席表でかえさせていただきます。席上には、座席表、議事次第、資料1と2、そして、参考資料を配付しておりますので、御確認をいただければと思います。

それでは、ここからは、竹中会長に一言いただいた上で、御進行をお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

○竹中会長

今日もありがとうございます。

この間、皆様方には、本当に汗をかいていただいて、かなり深まったと聞いておりますので、今日は、できるだけ短く、効率的に終えられれば嬉しいなと思っております。

本日は「未来投資戦略2017」で規定しましたPPP/PFI関連の取り組みについてのフォローアップ、それと、次期の成長戦略策定に向けた、本会合としての提言について詰め

の議論をしたいと思います。

前回の会合で、昨年秋以降での議論を踏まえた私の提言を各府省にお示しをいたしました。その内容について、再生事務局と福田補佐官の方で、関係府省と協議をいただいて必要な修正を施したものを、今、皆様のお手元に配付をさせていただいております。

十分な議論を得てまとまったものでありますので、この内容を今後政府一丸となって取り組んでいけるものと確信しておりますけれども、改めて皆様方に確認をさせていただきます。

この内容で、一緒に全力で取り組んでいくということによろしゅうございますでしょうか。

ありがとうございます。

今日は、全ての担当部局から御出席をいただいているわけではなく、各府省から代表者としての皆様に出席をいただいていると聞いております。これをもって、関係府省の同意を得て、提言が正式にまとまっていくものであると理解をしておりますので、ここまでの御協力、本当にありがとうございます。

ここからは、この提言を今年の成長戦略にしっかりと反映させることが大事だと思います。再生事務局には、ここに出席して、皆さんの熱意をしっかりと成長戦略に反映していただくよう、よろしくお願ひしたいと思います。

なお、そんなことはないと思いますけれども、もし、これまでの議論を少し変更したい、ひっくり返したいという方がいましたら、直接協議の場に行って議論をしたいと思いますので、その場合は、もしもそういうことがありましたら、遠慮なく言っていただきたいと思います。そういうことによろしゅうございますでしょうか。

再生事務局も、ひとつよろしくお願ひいたします。ありがとうございます。

事務局には、あわせて1つお願ひがあります。4月12日の経済財政諮問会議に、民間議員の皆様から、社会資本整備分野での提言が出されたと思います。その中で、この会合でも取り上げました人口3万人未満の自治体の下水道事業への公営企業会計適用の動きについて促進するように提言がなされています。この内容には、私も強く賛同しています。PPP/PFIという観点で、今回の提言には含めていませんけれども、ぜひ、骨太の方針をまとめる議論の段階で、具体的にどのように促進するのか、数値目標を設定すべきではないのか、そういった点について議論をしていただきたいと思います。

骨太の方針は、ぜひ、田和統括官、そして、高橋議員にも内閣府の方からお伝えをいただきたい。そして、総務省と具体的に議論をするようにお願ひしたいと思います。そういうことで、ひとつよろしくお願ひいたします。

総務省からは、2月に自治体との調整が必要という意見もあったと記憶しています。ただ、これは、いつかはどうしても通らなければいけない道、ぜひとも早急に自治体とも調整して、具体的な策を考えるようにお願ひしたいと思います。

総務省、そういう方向でよろしゅうございますでしょうか。

○境総務省大臣官房審議官

昨日の諮問会議で、野田大臣の方からも考え方を示させていただきましたが、地方団体の意見もよく踏まえた上で、具体的な工程を考えていきたいという旨、発言をしておりますので、その方向で進めさせていただきたいと思います。

○竹中会長

ありがとうございます。

この問題についても、今日の提言と同様に、福田補佐官の方でも、ぜひ、動きをフォローアップしていただきたいと思います。

補佐官、よろしゅうございますか。

○福田大臣補佐官

はい、わかりました。

○竹中会長

ありがとうございます。

あと、今回の提言における重要な柱としまして、インセンティブ改革のための、北海道における運営権対価の一定額を必要な投資にリサイクルするという方針を示すことができました。これは、今後の骨太方針や、経済財政一体改革に関する議論の中でも大変重要な項目になると思います。ぜひ、今回の我々が示した方向性が形骸化されることなく、改革努力をしたものが報われるように、うまく政府のマクロ経済運営の中で生かして議論を進めていただきたいと思っております。

これも、田和統括官に関連することであると思えますし、高橋議員にもお願いしなければいけないと思います。この会合についても、必要に応じて、いつでも議論を行いますので、これもよろしく、統括官と高橋議員にお伝えをいただければと思います。

それと、今回の私の提言にあわせて、ペイ・フォー・サクセスの推進について、経産省からも有意義な政策提言があったと聞いております。内容について、私の提言には含めることはしておりませんが、本会合から出た政策提言ということで、成長戦略への反映を検討していただきたいと思います。

これは、再生事務局に、ひとつよろしくお願いを申し上げたいと思います。

これまでの議論で、概ね今年度の議論は、方向として収束したと思うのですが、特にここまで議論等々ございませんでしょうか。よろしゅうございませんでしょうか。

以前も少し申し上げたのですが、PPP/PFI、特にコンセッションというのは、これからどういう政府になっていくにしても、絶対に避けて通ることはできない重要な問題だと思います。これを本当にしっかりとやっていかないと、日本のインフラは維持

されないし、インフラがさらに必要な部分をつくっていくこともできません。

ちょうど、まさしく明治維新から150年でありますけれども、これまでは、一生懸命政府が中心になって、これをつくってきたと、それを今度は民間が活用して、さらに必要なものにインフラ投資を行っていくという、そういう少し大げさな話に聞こえて恐縮ですけれども、明治維新から150年の本当の節目にふさわしいところに、我々は立っているのかなと認識をしております。そういう時代認識でありますので、ぜひ、皆様方の御尽力を賜りたいと思っております。

田和統括官、お忙しいと思えますけれども、経済財政諮問会議でのインセンティブ改革の一体化の話とか、その連結間のところに田和統括官はいらっしゃいますので、ぜひ、これまでの議論を踏まえて御尽力を賜りたいと思います。

よろしゅうございますでしょうか。

○田和内閣府政策統括官

はい。

○竹中会長

よろしく申し上げます。

特に、政務の方もよろしゅうございますでしょうか。

○越智副大臣

はい。

○竹中会長

ありがとうございます。

それでは、私の方から確認したい事項は、全部確認させていただきましたので、進行を事務局にお返し申し上げます。

○広瀬日本経済再生総合事務局次長

ありがとうございます。

ほかに、府省から御発言等はございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、これで議事も終了でございますので、最後に越智副大臣から一言お願いいたします。

○越智副大臣

まず、本当に今日の会合までの皆様方の御調整に心から感謝を申し上げたいと思います。

今日の議論によって、コンセッション及びペイ・フォー・サクセスの推進強化について、成長戦略に反映する施策の方向性が明らかになったと思っております。

今後、今日の方向性を踏まえて、限られた時間の中ではありますけれども、成長戦略における具体的な施策を確定していくこととなります。各府省におきましては、引き続き御尽力を賜りますように心からお願いを申し上げます。

改めて、ここまでの成果に至る竹中会長を初め、また、有識者の皆様、また、各府省の皆様の御努力に感謝を申し上げて、締めくくりの挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

○広瀬日本経済再生総合事務局次長

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、本日の議事を終了いたします。

今回の議論を踏まえまして、成長戦略の具体化に向けて検討を進めてもらいたいと思います。

この後、本日の会議の中身につきまして、事務局からプレスにブリーフィングをさせていただきます。後日、発言者の確認を得た上で、議事要旨を公開したいと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、本日は、どうもありがとうございました。

以 上